

News Release



2026年度 電気機器の見通し

2026年3月13日

一般社団法人日本電機工業会

1. 経済の概況

2. 2025年度の見込み

2-1 重電機器分野

2-2 白物家電機器分野

3. 2026年度の見通し

3-1 重電機器分野

3-2 白物家電機器分野

■ 参考資料

1. 経済の概況

- IMF世界経済見通し（1月）では、世界の2026年の経済成長率は3.3%と、昨年10月の予測から0.2ポイント上方修正された
- 技術投資（AI等）を背景に経済は底堅く推移しているものの、通商政策の変化や貿易摩擦の再燃、さらに米国・イスラエルによるイランへの軍事攻撃に伴う地政学的リスクの高まりなど、不確実性は依然として残っている
- 日本経済は米国の通商政策による影響が一部産業にみられるものの、緩やかな回復基調が続く見通し
- 雇用改善や賃金上昇により所得が増え、消費が持ち直す形で経済の「所得→支出」の好循環が強まりつつある
- 先般「高市内閣2.0」として施政方針演説が行われ、原子炉の再稼働加速や次世代革新炉の開発・設置についての具体化、ペロブスカイト太陽電池などに係るサプライチェーンを国内に構築することが改めて表明された
- 高市政権には、引き続き、成長志向型経済への転換と産業競争力の底上げを力強く進めていただくことを期待している

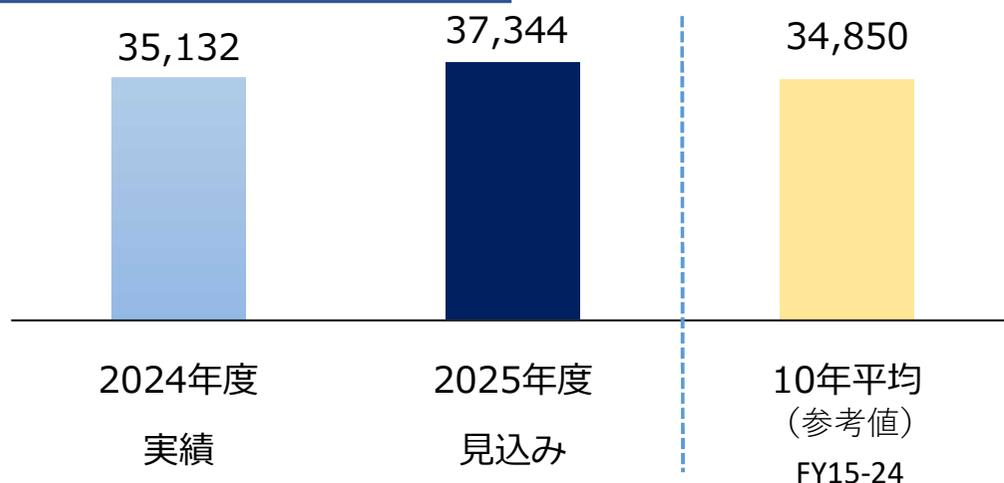
2. 2025年度の見込み

2-1 重電機器 概況



重電機器 2025年度 国内生産見込み 3兆7,344億円 (前年度実績比106.3%)

重電機器 国内生産金額 (億円)



- 発電用原動機分野は、蒸気タービン、ガスタービンの輸出は好調なもの、国内向けが減少し、前年度を**下回る**見込みである
- 国内、海外ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資の回復が進み、FA機器(サーボモータ、プログラマブルコントローラ、インバータ)は、前年度を**上回る**見込みである

単位：億円、%	24年度 実績	25年度 見込み	前年度 実績比
重電機器 国内生産	35,132	37,344	106.3

【備考】

1. 国内生産実績は、経済産業省「生産動態統計調査」による
2. 国内生産見込みは、JEMAが策定した

2-1 2025年度 国内生産見込み（重電機器）



(単位: 億円、%)	2024年度 実績	2025年度 見込み	前年度 実績比
重電機器合計(1+2+3+4)	35,132	37,344	106.3
1.発電用原動機計	3,643	3,234	88.8
ボイラ	1,033	1,060	102.5
蒸気タービン	593	412	69.6
ガスタービン	2,016	1,762	87.4
2.回転電気機械計	9,396	10,441	111.1
うち交流発電機	881	822	93.3
うち交流電動機	3,588	3,946	110.0
うちサーボモータ	809	849	104.9
3.静止電気機械器具計	6,482	7,022	108.3
うち変圧器	2,637	2,848	108.0
うち電力変換装置	3,015	3,217	106.7
うちインバータ	1,256	1,371	109.2
うちサーボアンプ	800	824	103.0
4.開閉制御装置・開閉機器計	15,612	16,647	106.6
うち監視制御装置	2,394	2,514	105.0
うち低圧開閉器・制御機器	4,961	5,427	109.4
うちプログラマブルコントローラ	874	980	112.1

備考 1: 国内生産実績は、経済産業省「生産動態統計」による

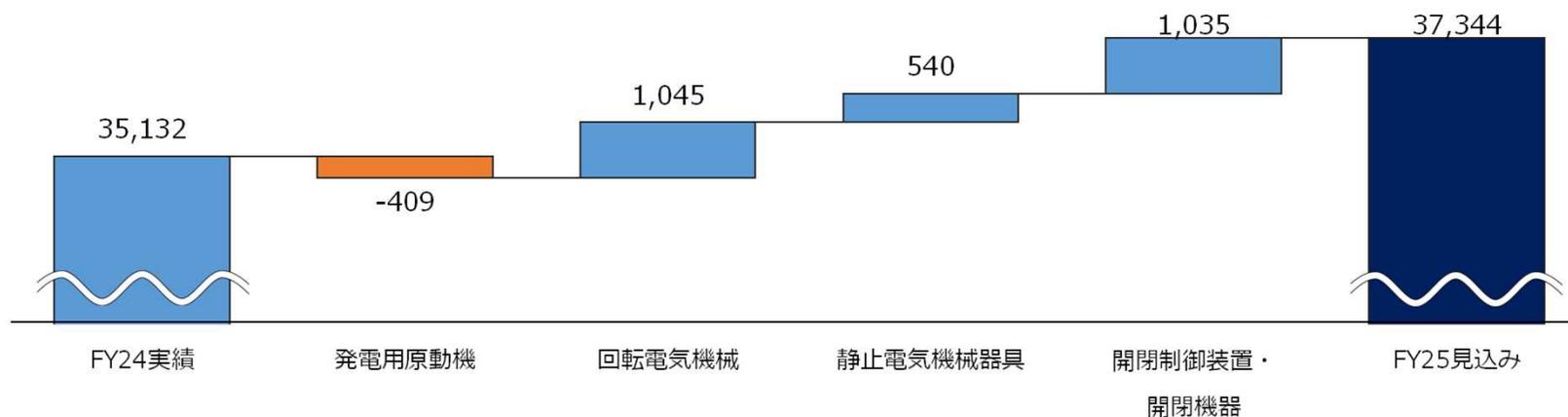
2025年度見込みは、JEMAが策定した

2: 端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

2-1 2025年度 国内生産見込み 増減内訳（重電機器）

2025年度 国内生産見込み 増減内訳

単位：億円



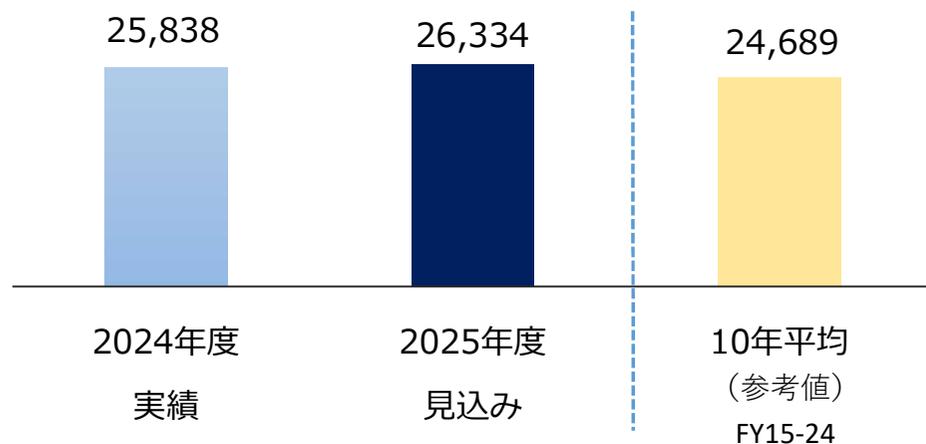
主な増減要因	
発電用原動機	<ul style="list-style-type: none"> ボイラは、国内向けの増加により前年度を上回る見込み 蒸気タービン、ガスタービンは、国内向けの減少により、前年度を下回る見込み
回転電気機械	<ul style="list-style-type: none"> 交流発電機は、国内向けが低調であり、前年度を下回る見込み 交流電動機は、国内需要が堅調であり、前年度を上回る見込み サーボモータは、国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資の回復が進み、前年度を上回る見込み
静止電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 変圧器は、国内のビル、工場や電力業向けが増加し、前年度を上回る見込み 電力変換装置は、サーボアンプはサーボモータ同様に設備投資の回復が進み、インバータは流通在庫過多の状況が解消し、前年度を上回る見込み
開閉制御装置・開閉機器	<ul style="list-style-type: none"> 監視制御装置は、国内製造業、電力業向けが堅調であり、前年度を上回る見込み 低圧開閉器・制御機器は、内訳のPLC（プログラマブルコントローラ）が国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資の回復が進み、前年度を上回る見込み

2-2 白物家電機器 概況



白物家電機器 2025年度 国内出荷見込み 2兆6,334億円 (前年度実績比101.9%)

白物家電機器 国内出荷金額 (億円)



- 夏**の**猛暑需要および寒冷地の暖房需要が伸びたことに加え、自治体による補助金の下支え効果もあり、ルームエアコンが全体を牽引し、国内出荷金額は前年度を**上回る**見込みである
- 直近の10年平均（2兆4,689億円）を**上回る**高い水準である

単位：億円、%	24年度 実績	25年度 見込み	前年度 実績比
白物家電機器 国内出荷	25,838	26,334	101.9

【備考】

- 国内出荷実績は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）による
- 国内出荷見込みは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）をベースにJEMAが策定した

2-2 2025年度 国内出荷見込み（白物家電機器）



(単位:億円、%)	2024年度 実績	2025年度 見込み	前年度 実績比
白物家電機器合計	25,838	26,334	101.9
ルームエアコン	8,429	8,973	106.5
電気冷蔵庫	3,989	3,858	96.7
電気洗濯機	3,921	3,828	97.6
電子レンジ	962	1,005	104.5
空気清浄機	528	568	107.5
その他(上記品目以外)	8,009	8,103	101.2

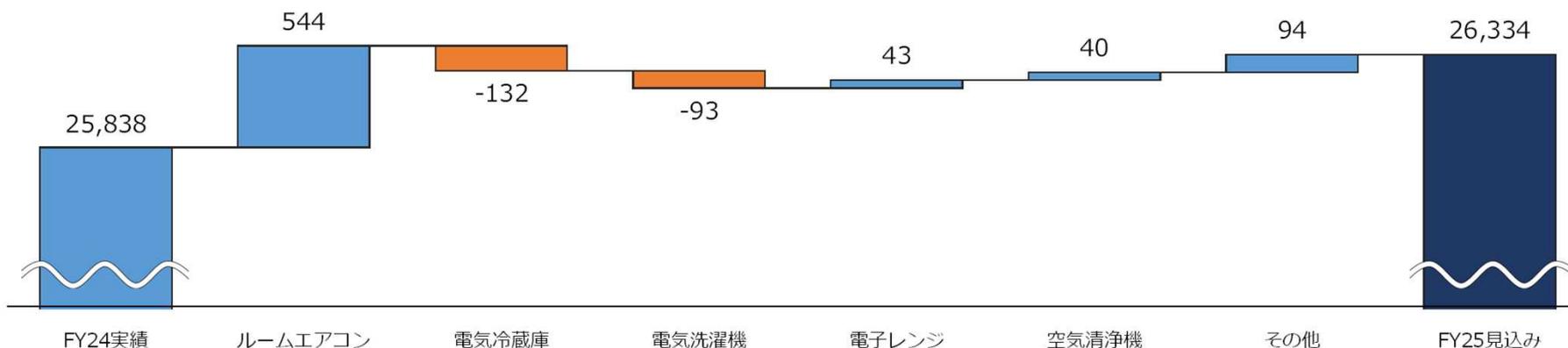
【備考】

- 1: 国内出荷実績は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)による
- 2: 国内出荷見込みは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)をベースにJEMAが策定した
- 3: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある

2-2 2025年度 国内出荷見込み増減内訳（白物家電機器）



2025年度 国内出荷見込み 増減内訳 単位：億円



主な増減要因	
ルームエアコン	<ul style="list-style-type: none"> 夏の猛暑需要および寒冷地の暖房需要が伸びたことに加え、自治体による補助金の下支え効果もあり、前年度を上回る見込み
電気冷蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> 買い替えサイクルの長期化や、少人数世帯の増加による大型→中型シフト等により、前年度を下回る見込み
電気洗濯機	<ul style="list-style-type: none"> ドラム式洗濯乾燥機へのシフトの一方で、タテ型の需要はさらに減少し、前年度を下回る見込み
電子レンジ	<ul style="list-style-type: none"> 単身世帯の増加による単機能レンジの需要が牽引し、前年度を上回る見込み
空気清浄機	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザの流行や花粉症対策、インバウンド向けホテル需要により、前年度を上回る見込み

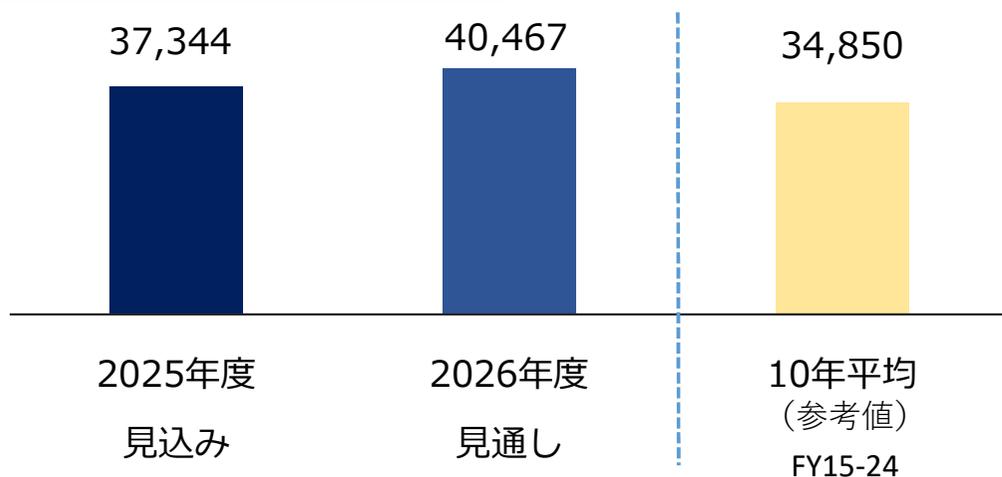
3. 2026年度の見通し

3-1 重電機器 概況



重電機器 2026年度 国内生産見通し 4兆467億円 (前年度見込比108.4%)

重電機器 国内生産金額 (億円)



発電用原動機分野は、蒸気タービン、ガスタービンの輸出向けが伸長し前年度を**上回る**見通しである

国内、海外ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資が伸長し、FA機器(サーボモータ、プログラマブルコントローラ、インバータ)は前年度を**上回る**見通しである

- 1997年度(4兆3,386億円)以来、29年ぶりの4兆円超えとなる見通しであるが、原材料コストの高止まりなどの影響による

単位：億円、%	25年度 見込み	26年度 見通し	前年度 見込比
重電機器 国内生産	37,344	40,467	108.4

【備考】国内生産見込み、見通しは、JEMAが策定した

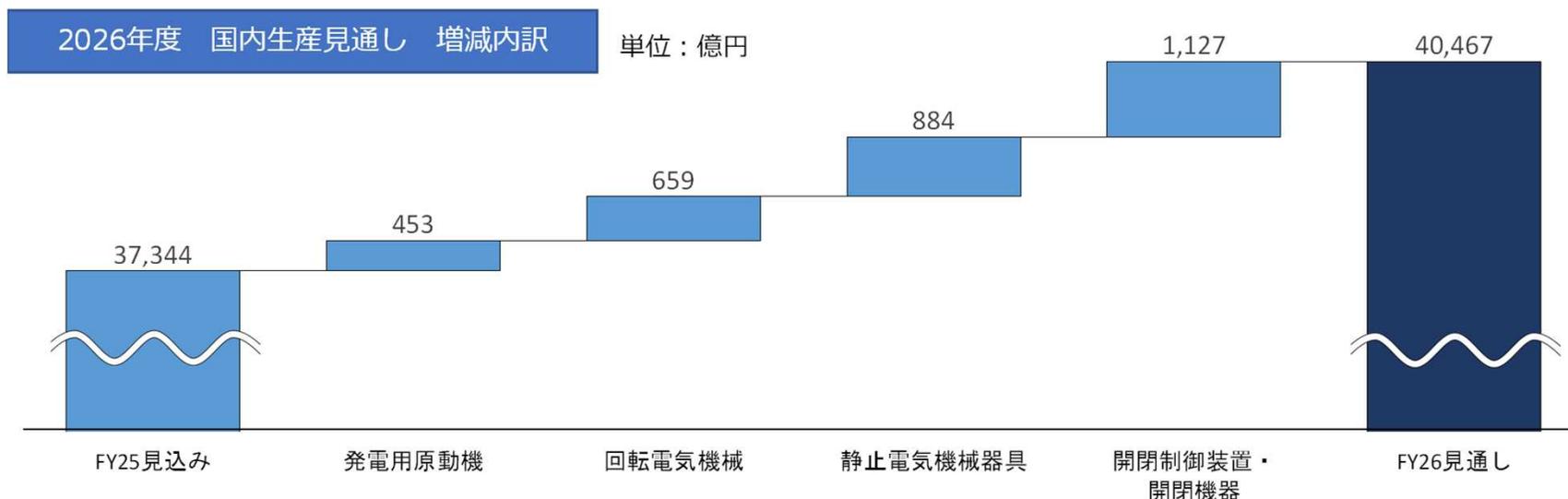
3-1 2026年度 国内生産見通し（重電機器）



(単位:億円、%)	2025年度 見込み	2026年度 見通し	前年度 見込比
重電機器合計(1+2+3+4)	37,344	40,467	108.4
1.発電用原動機計	3,234	3,687	114.0
ボイラ	1,060	987	93.2
蒸気タービン	412	500	121.3
ガスタービン	1,762	2,200	124.8
2.回転電気機械計	10,441	11,100	106.3
うち交流発電機	822	810	98.6
うち交流電動機	3,946	4,162	105.5
うちサーボモータ	849	933	109.9
3.静止電気機械器具計	7,022	7,906	112.6
うち変圧器	2,848	3,215	112.9
うち電力変換装置	3,217	3,703	115.1
うちインバータ	1,371	1,524	111.1
うちサーボアンプ	824	905	109.9
4.開閉制御装置・開閉機器計	16,647	17,774	106.8
うち監視制御装置	2,514	2,694	107.2
うち低圧開閉器・制御機器	5,427	5,823	107.3
うちプログラマブルコントローラ	980	1,040	106.1

備考 1: 国内生産実績は、経済産業省「生産動態統計」による
 2025年度見込み、2026年度見通しは、JEMAが策定した
 2: 端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

3-1 2026年度 国内生産見通し 増減内訳（重電機器）

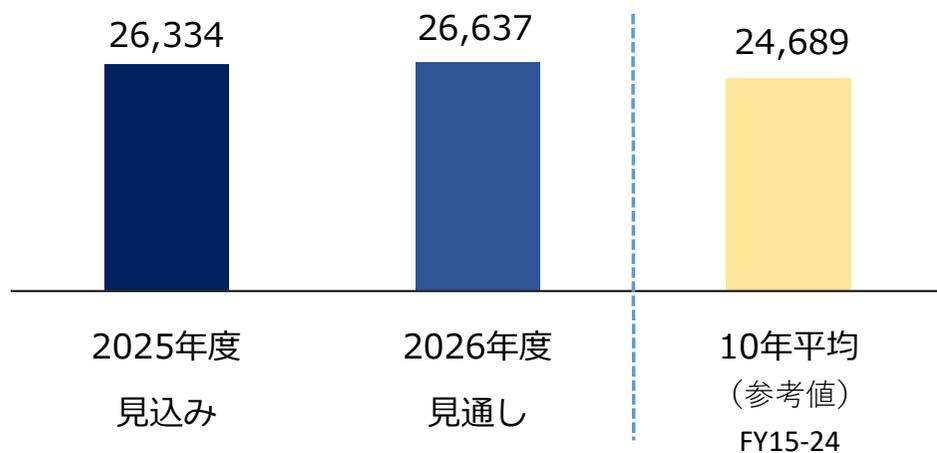


主な増減要因	
発電用原動機	<ul style="list-style-type: none"> ボイラは、国内向けが減少し、前年度を下回る見通し 蒸気タービン、ガスタービンは、輸出が伸長し、前年度を上回る見通し
回転電気機械	<ul style="list-style-type: none"> 交流発電機は、国内向けが減少し、前年度を下回る見通し 交流電動機は、国内需要の堅調が継続し、前年度を上回る見通し サーボモータは、国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資が伸長し、前年度を上回る見通し
静止電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 変圧器は、前年度に引き続き、国内のビル、工場や電力業向けが増加し、前年度を上回る見通し 電力変換装置は、内訳のインバータ、サーボアンプは、国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資の伸長により、前年度を上回る見通し
開閉制御装置・開閉機器	<ul style="list-style-type: none"> 監視制御装置は、国内製造業、電力業向けの堅調が継続し、前年度を上回る見通し 低圧開閉器・制御機器は、内訳のPLC(プログラマブルコントローラ)が国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資が伸長し、前年度を上回る見通し

3-2 白物家電機器 概況

白物家電機器 2026年度 国内出荷見通し 2兆6,637億円 (前年度見込比101.1%)

白物家電機器 国内出荷金額 (億円)



- 省エネ法の目標年度を前にルームエアコンの需要が高まることが想定され、国内出荷金額は前年度を**上回る**見通しである
- 一方で、ルームエアコン以外の製品については、物価高による耐久消費財の買い控えや、人口減少による市場の緩やかな縮小が継続することが予想される

単位：億円、%	25年度 見込み	26年度 見通し	前年度 見込比
白物家電機器 国内出荷	26,334	26,637	101.1

【備考】

- 国内出荷実績は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）による
- 国内出荷見込み、見通しは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）をベースにJEMAが策定した

3-2 2026年度 国内出荷見通し（白物家電機器）



(単位: 億円、%)	2025年度 見込み	2026年度 見通し	前年度 見込比
白物家電機器合計	26,334	26,637	101.1
ルームエアコン	8,973	9,332	104.0
電気冷蔵庫	3,858	3,801	98.5
電気洗濯機	3,828	3,718	97.1
電子レンジ	1,005	1,016	101.1
空気清浄機	568	584	102.7
その他(上記品目以外)	8,103	8,186	101.0

【備考】

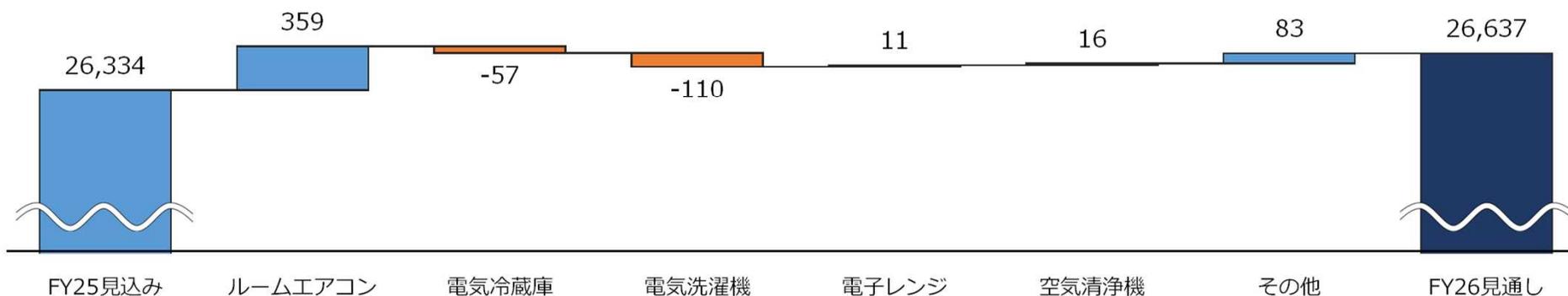
- 1: 国内出荷実績は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)による
- 2: 国内出荷見込み、見通しは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)をベースにJEMAが策定した
- 3: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある

3-2 2026年度 国内出荷見通し 増減内訳（白物家電機器）



2026年度 国内出荷見通し 増減内訳

単位：億円

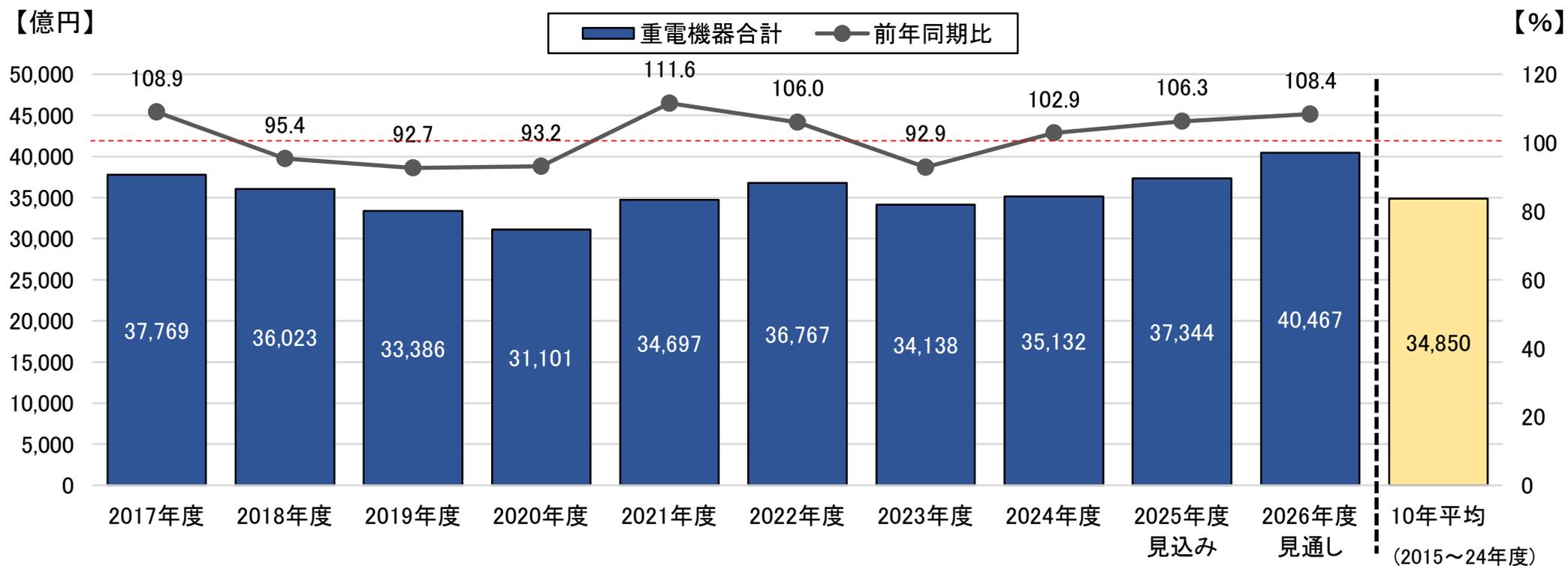


主な増減要因	
ルームエアコン	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ法の目標年度を前に需要が高まることが想定され、前年度を上回る見通し
電気冷蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> 買い替えサイクルの長期化や、少人数世帯の増加による大型→中型シフト等により、前年度を下回る見通し
電気洗濯機	<ul style="list-style-type: none"> ドラム式洗濯乾燥機へのシフトの一方で、大容量モデルの需要は減少傾向にあり、前年度を下回る見通し
電子レンジ	<ul style="list-style-type: none"> 単身世帯の増加による単機能レンジの安定した買い替え需要に支えられ、前年度を上回る見通し
空気清浄機	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍特需の買い替え需要期に入ることから、前年度を上回る見通し



參考資料

1. 【重電機器】 国内生産額推移 – 年度別



【出所】実績：経済産業省 生産動態統計／見込み・見通し：JEMA統計

2. 【重電機器】国内生産額 見込み/見通し – 生産分類別



経済産業省 生産動態統計の品目を、JEMAが受注形態別に「受注生産品」と「産業用汎用電気機器」に分けて分類しました

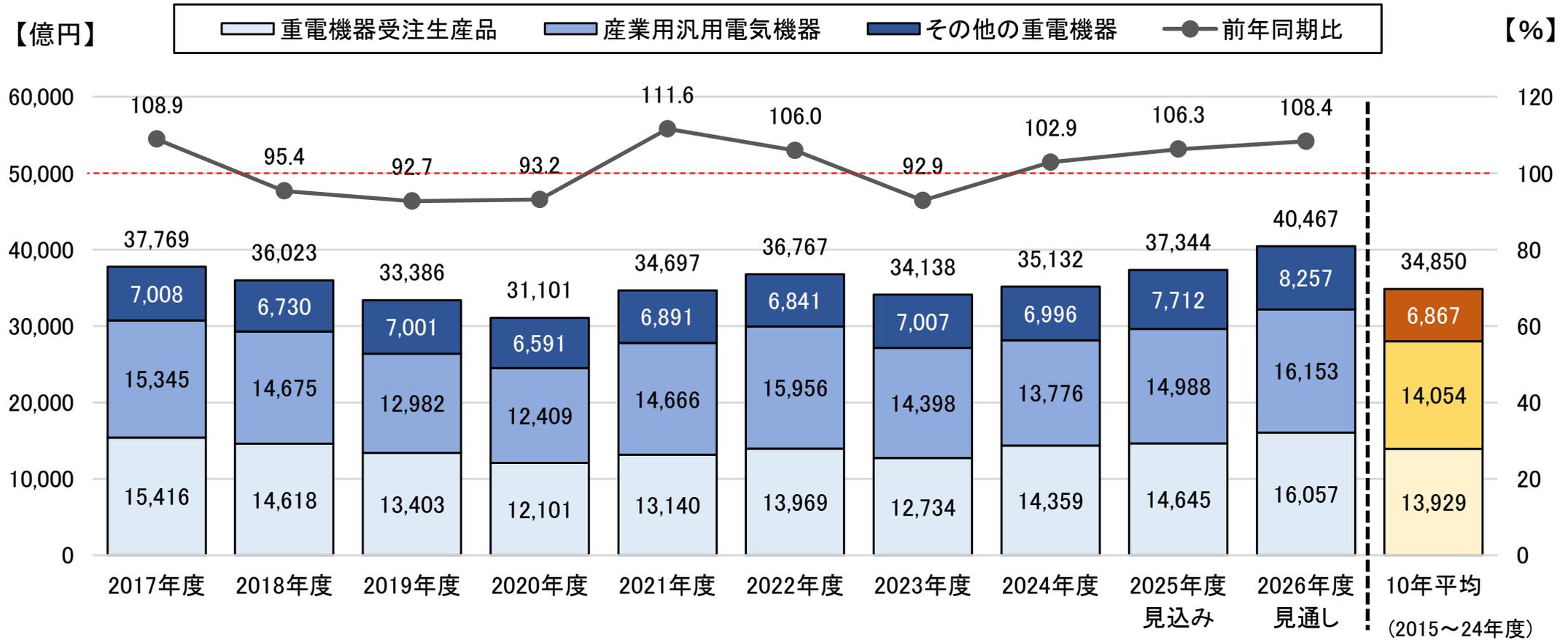
(単位: 億円、%)	2025年度 見込み		2026年度 見通し	
	金額	前年度実績比	金額	前年度見込比
重電機器合計	37,344	106.3	40,467	108.4
受注生産品*1	14,645	102.0	16,057	109.6
発電用原動機	3,234	88.8	3,687	114.0
電力・産業向け電気設備	11,410	106.5	12,370	108.4
産業用汎用電気機器*2	14,988	108.8	16,153	107.8
その他の重電機器*3	7,712	110.2	8,257	107.1

出所: 経済産業省 生産動態統計/見込み・見通しはJEMAが策定

- * 1 受注生産品: 発電用原動機(蒸気・ガスタービン等)、発電機、大容量変圧器等
電力及び産業用(自動車、鉄鋼等)向けの電気設備
- * 2 産業用汎用電気機器: 汎用インバータ、サーボモータ、プログラマブルコントローラ等
需要先が多岐にわたる、主に標準仕様で生産する量産品
流通は代理店経由が多い
- * 3 その他の重電機器: 電気炉、電気溶接機、分電盤等
機器としては重電機器受注生産品または産業用汎用電気機器であるが、
データとして分類できない機器

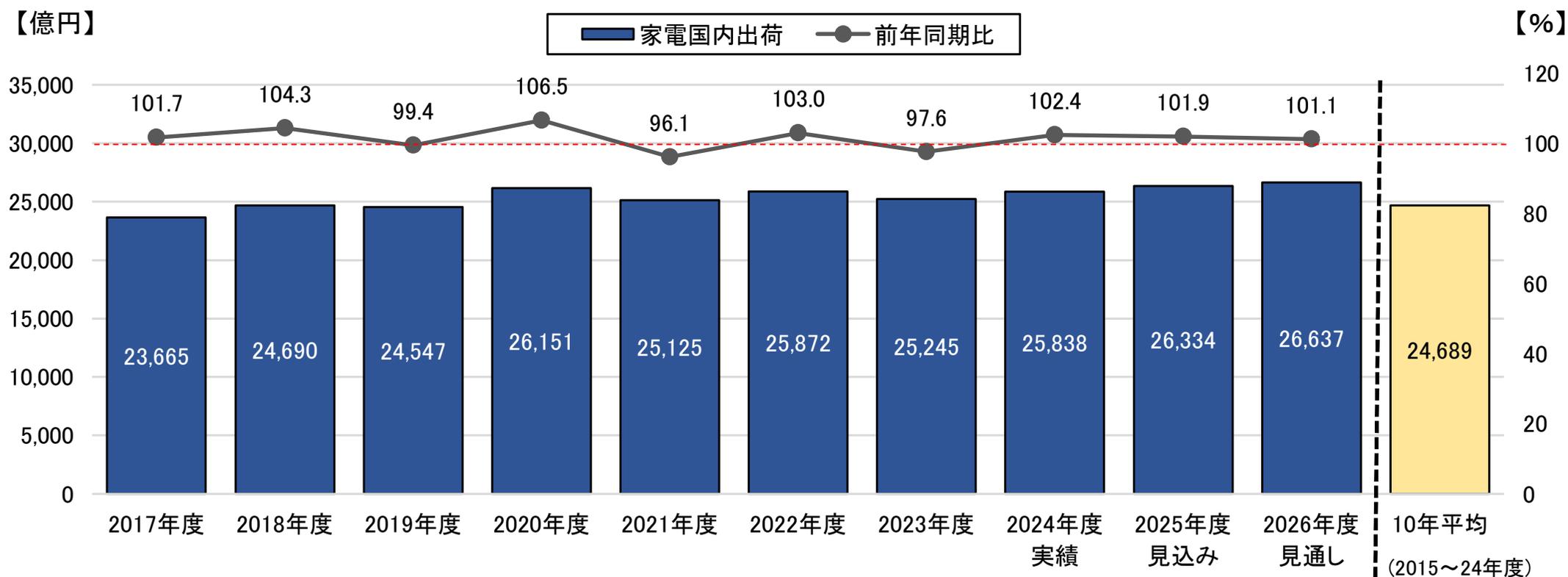
【備考】端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

3. 【重電機器】 国内生産額推移 – 生産分類別



【出所】実績：経済産業省 生産動態統計／見込み・見通し：JEMA統計

4. 【白物家電機器】国内出荷額推移－年度別



【出所】JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)